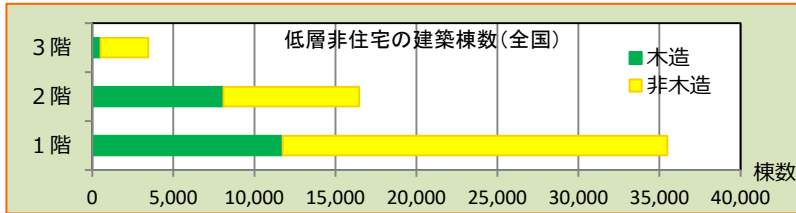


# 非住宅建築物木造化の推進

## ●現 状

・低層非住宅の木造率は低位



(参考) ・住宅の木造率 82.3% ・ 非住宅の木造率 36.4%

## ●取組方針

・木造率が低い低層非住宅建築物の木造化を推進  
→ 一般流通材を活用した新製品による対応

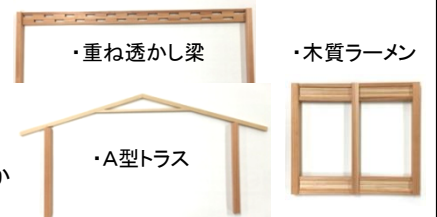
開発  
支援

## ●これまでの取組状況

○シングルウッドパネル(SWP)の開発を支援(H25・H27)  
(内容) 杉幅はぎパネルを活用した耐力壁(大臣認定取得)  
【事業主体】(一社)こうち健康・省エネ住宅推進協議会



○一般流通材を活用した新たな木質建材の開発を支援(H28)  
(内容) 新製品のアイデア(10案)から、検討により3案に絞り込み  
・重ね透かし梁:長スパンに対応  
・A型トラス:屋根に対応  
・木質ラーメン:壁が少ない箇所に対応  
※今後、実験による確認を行い製品化  
【事業主体】高知県林業活性化推進協議会



→アドバイザー 東京大学 稲山教授 ほか

○事例集作成を支援 →普及活動に活用

## ●見えてきた課題

- ・施工実績のない新製品の販売を促進するためには、モデル施設の整備による実績づくりが必要
- ・木造化の有利性を示すためには、新製品のコストダウンを進める一方で、施工を含めたトータルコストを把握することが必要
- ・SWP(シングルウッドパネル)など、新たに開発された製品については、普及に向けた支援が必要
- ・木質建材の更なる開発が必要



## 非住宅建築物木造化の推進

### ①モデル施設整備

- ・新製品を活用したモデル施設整備  
→新製品の活用促進(実績づくり)  
→見学会の開催による普及

### ③新たな内装材等の開発

- ・インテリアデザイナーと木材加工業者等  
が連携しデザイン案の作成、試作品の製作

### ②新製品の改良・普及

- ・モデル建築物を活用した施工調査の実施  
→コスト(材料・人件費)の把握
- ・調査結果を活かした製品の改良
- ・普及啓発冊子の作成

### ④新製品の販売促進

- ・施主・建築士・工務店などへの提案
- ・土佐材パートナー企業などへの提案
- ・土佐材商談会などを通じた販売の拡大

## 期待される効果

- ・モデル施設を通じた新製品の認知度向上
- ・新製品の改良によるコストダウン、施工性の向上
- ・普及冊子を活用した新製品の浸透
- ・木質建材のバリエーションが拡大
- ・新製品の販路拡大

一般の建築物へ普及・拡大

木材利用の促進